

動物病院チェーン展開

東京の獣医師の雇用受け皿にベンチャー

ペットブームの一方で、獣医師が厳しい雇用環境にさらされている。大学の獣医学部を卒業しても就職口が少ない上、低賃金で経済的自立も容易でないのが現状。こうした中、獣医師の雇用の受け皿になると、動物病院をチェーン展開するベンチャー企業が出現、業界で関心を集めている。

この企業は、経営コンサルタントの西川芳彦氏が社長を務める「ブイエスシー（VSC）」（東京）。動物病院は株式会社による経営ができることから、直営スタイルを導入、獣医師は同社の社員だ。

西川氏は、動物病院の経営相談に応じる中で獣医師



全国に展開する動物病院「アテナ」
—横浜市青葉区

の不安定な雇用環境を知り、異業種に参入。二〇〇一年七月に愛知県内に最初の病院を開設し「アテナ」などのブランド名で今年九月までに首都圏のほか札幌や栃木、兵庫などに二十病院をオープンした。

農水省によると、獣医師は大学の獣医学部を卒業した学生が国家試験を受け、毎年約千人が合格する。十

年以内の開業を目指す人が多く、それまでは勤務医として臨床経験を積むが、一般の病院と違い、勤務医を採用する比較的規模の大きい動物病院は数が少ないため、求人は限定的という。

給与水準も低く、年収は二百万—四百万円が相場という。

VSCは採用する獣医師のキャリアに応じて、新卒者は月給二十万円以上、臨床経験のある研修医は二十五万円以上、院長は四十万円以上と給与体系も明確にした。

西川氏は「これまでは新規開業してきたが、今後は既存病院の買収も考えている」といい、年間十病院ペースで拠点を増やし、三年間で五十病院まで増やす計画だ。